

スマートファクトリーに向けた工場無線プロジェクト における既存ビジネスプロセス改善の提案

名前: 伊東 知昭

現状の課題

近年のDX推進に伴い、工場無線化のニーズが更に高まり、無線案件の相談・問合せ件数も増え、機会は増えているものの、効率的な活動ができていないため、ターゲットとしている大口顧客からの受注や元請受注に伸び悩みが見え始めている。

新手法構築による解決

- ①IoT手法改善には受動的でなく、能動的な活動が必要だと考え、スマートエスイーの講義で学んだツールと技法をカスタマイズし、「**ビジネスイノベーションツール**」を提唱
- ②ビジネスイノベーションツールから出力したプロセス改善を社内に提案し、今後のビジネス成長に活用する。

ビジネスイノベーションツールの構築

【Step1:ブレインストーミング】

- ・初期問題抽出
- ・自由な発想(多角的な視野から)
- ・何が目標、挑戦だったかの確認

【Step2:SWOT分析】

- ・議題を設定しての問題抽出
- ・市場機会/事業課題
- ・工場無線プロジェクトの事業達成・挑戦するために妨げになっている事

【Step4:カスタマージャーニーマップ】

- ・顧客インタビュー
- ・顧客情報から得る問題の核心
- ・顧客満足度を導入することにより分析のリアリティを追求する

【Step3:特性要因分析】

- ・ブレインストーミングとSWOT分析の共通問題から根本的な問題を抽出
- ・根本原因を探ることにより、更に共通問題を鮮明にする分析

【Step5:既存ビジネスプロセス改善】

- ・問題抽出内容から手法なしで改善できる項目があれば実施
- ・組織改善, 資料改良など

【Step6:ソリューションエリア分析】

- ・QFD(Quality Function Deployment)を参考にした新技法
- ・第1段階:ソリューションの業界別での機会を分析(工場・製造業で優位性が高い)
- ・第2段階:ソリューションの柔軟性を分析(無線LANとの相互接続性が高いパッケージソリューションの選定)

【Step7:コストワース分析】

- ・コストと重要度から対投資効果の順位付け

問題抽出

プロセス改善

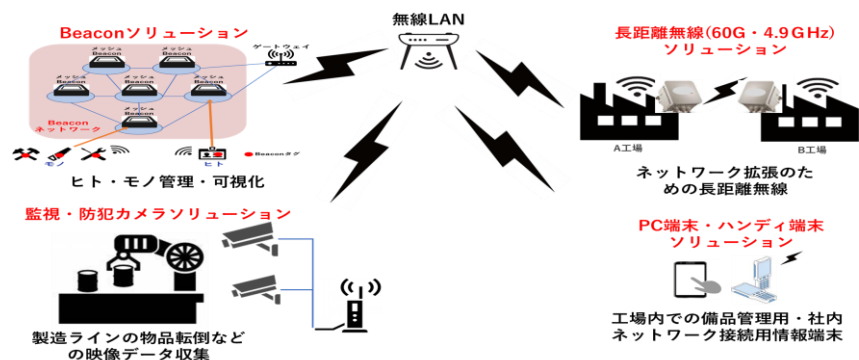
プロセス改善の出力

■既存プロセス改善(Step6)

- ①問合せフォーム改善(マーケティング強化)
- ②サービスメニュー改善(コンサルカアピール)
- ③営業活動フロー可視化・改善

■新規プロセス創出(Step7,8)

- ④パッケージソリューションの選定



まとめと今後の取組み

■まとめ

スマートエスイーの講義で学んだツール・手法を用いて、ビジネスイノベーションツールを構築し、工場無線プロジェクトに対して能動的な視点で、プロセス改善を実施し、出力することができた。

■今後の取組み

- ①プロセス改善後の効果測定
→4つのプロセス改善の効果測定を実施し、他プロセス改善の抽出・活用
- ②ビジネスイノベーションツール自体の評価
→ソリューションエリア分析ツールの改善
→他手法との比較検証や他プロジェクトでの活用によるビジネスイノベーションツール自体の評価・検証